

疑義照会に関する事例（分量変更）

～疑義があると判断する契機となった情報～

ヒヤリ・ハット事例のうち、「疑義照会」に関する事例が789件報告され、このうち、変更内容が「分量変更」であった事例は129件です（集計期間：2014年1月1日～12月31日）。

129件の事例の「疑義があると判断した理由」の項目で「当該処方せんと薬局で管理している情報で判断」または「上記以外で判断」が選択されていた事例69件のうち、「疑義があると判断する契機となった情報」が記載されている事例は61件ありました。それらの事例の「疑義があると判断する契機となった情報」の内容を以下に示します。

分量
変更

疑義があると判断する契機となった情報		件数	
薬局で管理している情報	薬局で管理している情報と処方内容との相違	23	50
	患者の体重	21	
	患者の年齢	3	
	患者の疾患、病態	2	
	同効薬の重複	1	
患者との会話	患者が理解している内容と処方内容との相違	4	6
	患者の体重	1	
	処方歴の有無	1	
お薬手帳	お薬手帳の内容と処方内容との相違	2	2
検査値	甲状腺ホルモン検査値	1	2
	腎機能検査値	1	
患者アンケート	患者の疾患、病態	1	1
合計		61	

- ※1 疑義照会に関するヒヤリ・ハット事例は、医療機関で発生した処方の誤りを薬局で発見した事例を含む。
- ※2 「分量変更」とは、内服薬の一日量、頓服薬の一回量の変更を指す。
- ※3 薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業「平成26年年報」219頁 図表4-1-9

